

種別	工種	事例名	シート番号
漏水	給排水	汚水集合管接合部からの漏水	1-5

不具合事例・状況

竣工後、マンション中間階の汚水縦管において集合管と配管（硬質ポリ塩化ビニル管）の接合部（メカニカル継手）より漏水している事が発覚した。（竣工後約3年経過）施工時には満水試験を実施し、当該個所の漏水が無い事は確認していた。

原因

漏水個所の集合管を確認したところ、配管（硬質ポリ塩化ビニル管）と集合管を接続するメカニカル接合部の締付ボルト3か所の内1か所の締付が不足しており、その周辺からの漏水が確認された。締付不足は施工時の締め忘れが原因であると考えられる。



フランジ部の漏水により錆が発生

3か所の内1か所のボルト締付不良

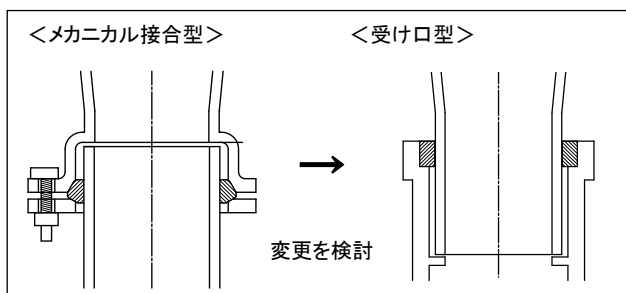
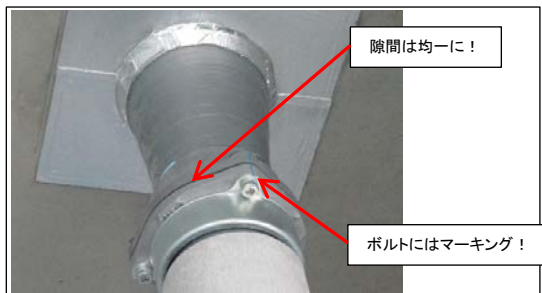
対処方法

- ・集合管メカニカル接合部の一部部品とパッキンを新規に取り替えボルトの締め込みを確実に行った。

再発防止対策

接合部の確認方法については監理者と内容の協議を十分行った上で全数実施する事が必要であるが、更に下記に示す点についても確実に対応する。

- ・メカニカル接合部のボルトは規定トルクにて締め付け作業を行い完了後は全数マーキングを実施する
- ・メカニカル接合部分のパッキンの隙間がボルト締付後均一になっている事を確認する。
- ・客先の仕様確認を行った上で可能であれば集合管と配管の接続部の形状をメカニカル接合型から受け口型へ変更する。



備考	参考文献：	制定	2020年3月1日
	参考メーカー：	改訂	